12月号 全家研 月刊ポピー 国語 一口ポイント 光村版

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は，教科書のページ数です。

1年 おかゆの　おなべ　📖44〜55

●呪文を唱えるとおかゆが出てくる、不思議な鍋の**お話**です。

●場面ごとの登場人物の気持ちや様子を読み取ります。

1　女の子が、おばあさんに、おかゆが出てくる不思議な鍋をもらう。

2　女の子は、お母さんと二人で、お鍋から出てくるおかゆを食べて暮らしていた。

3　お母さんが鍋を使うが、おかゆの止め方がわからず、町中がおかゆだらけになってしまう。

4　おかゆを食べないと道を通れない。…

2年 わたしはおねえさん　📖55〜70

●二年生の**すみれちゃん**が、どんなふうにお姉さんになっていくのか、という**お話**です。

すみれちゃん

- 歌を作ることが好き。
- 「わたしはおねえさん」の歌を歌うと、気持ちが輝き、偉いおねえさんになって立派なことをしたくなる。

←［でも］

- 妹のかりんちゃんに、学校のノートに落書きされてしまったすみれちゃんは……。

3年 三年とうげ　📖65〜80

●峠で転んだおじいさんの**物語**です。

●場面ごとの登場人物の**気持ちの変化**を読み取ります。

1　三年峠で転ぶと、三年しか生きられないという言い伝えがある。

2　おじいさんが三年峠で転び、心配のあまり病気になる。

3　トルトリが、三年峠で何回も転べば長生きできるとすすめる。

4　おじいさんは、三年峠で何度も転ぶ。

4年 プラタナスの木　📖63〜76

●「マーちん」たち四人と、公園で出会ったおじいさんとの交流を描いた**物語**です。

1　ボール遊びができる小さな公園には、古い大きな**プラタナス**が一本あった。

2　公園でサッカーに興じる仲良し四人は、木の下のベンチにいるおじいさんと親しくなる。

3　おじいさんから、木は、地面の下に大きな根を広げて水分や養分を地上に送っていることを聞く。

4　夏休みが終わり、四人が公園で見たものは……。

5年 やなせたかし――アンパンマンの勇気　📖161〜173

●アンパンマンの作者、やなせたかしの**伝記**です。

1　幼い頃に父を亡くし、弟と二人で高知の親戚の家で育ったたかしは、漫画家になりたいという夢を持つ。

2　徴兵された戦場で悲惨な体験をし、帰ってきたたかしは、弟の戦死を知る。

3　「正義」について考え続けるたかし。「本当の正義とは、お腹がすいている人に、食べ物を分けてあげることだ。」

4　漫画家になったたかしは、絵本「あんぱんまん」を出版する。

6年 メディアと人間社会　📖189〜192

●進化を続ける情報化社会の中で、メディアとどう付き合っていくかについて書かれた**説明文**です。

1　伝え合いたい、知りたいという人間の欲求が情報化社会を作ってきた。

2　**文字**…時間や空間を超えて情報を伝えられるが、時間がかかる。

←

ラジオ…広く同時に情報を伝えられることで、大きな影響力を持った。

←

テレビ…瞬時に理解できる映像を送ることで、影響力が高まった。

←

インターネット…ふつうの人々が情報を発信できるようになった。

3　メディアに求めることを意識して、メディアと付き合うことが重要になる。